

佐賀環境 フォーラム

・・・受講者募集・・・

- ・社会人と大学生が同じ講義室で学びます。
- ・社会人も参加しやすい夕方以降の講義です。
- ・高校生以上はどなたでも参加できます。



佐賀環境フォーラムは佐賀大学と佐賀市が連携して開催する環境教育事業です。講義・体験講座・現地見学会・ワークショップで構成され、環境問題を幅広く知ることができます。



日程	平成30年5月15日(火)～平成30年7月12日(木)[全12回]
時間	午後6時30分～午後8時30分[質疑応答含む]
場所	佐賀大学教養教育2号館2101番教室(本庄キャンパス)

このマークがある講座は単発で受講できます。(1回 500円)

第1回 5月15日(火)

「環境問題概論、フォーラム概要説明」

佐賀大学総合分析実験センター准教授
佐賀環境フォーラム実行委員会
事業部長 兒玉 宏樹 氏

佐賀環境フォーラムの概要説明や、佐賀市で環境活動をしている各団体の活動紹介。



第2回 5月17日(木)

「SDGsの波が佐賀にもやってくる～カードゲームで2030年をシミュレーション～」

くろめ協働CASE PJ コーディネーター
2030SDGs公認ファシリテーター 廣岡 睦 氏



2030年の未来。みなさんは、どんな社会を描きますか？「開発も環境も共に進めて持続可能な世界を作る」と、2015年に国連で採択された世界の目標であるSDGs。カードゲームで楽しく2030年の世界を創造してみましよう！

第3回 5月22日(火)

「あなたは光害を知っていますか？」

一般社団法人 佐賀天文協会
会長 副島 勉 氏

2002年全国で2番目に「光害の防止を目的とした」条例を制定した佐賀県。それでも、私たちの周りの光害は増えている。私たちの周りにある光とはどのようなものか。光害のない星空とはどれほど美しいのか。光害による影響や原因と対策について解説する。

第4回 5月24日(木)

「リデュースとリユース～参加型のごみ減量方策～」

NPO地域環境デザイン研究所ecotone
代表理事、
一般社団法人祇園祭ごみゼロ大作戦
理事長 太田 航平 氏

日本三大祭である京都の祇園祭と大阪の天神祭で始まったごみゼロ大作戦。非日常から日常での取組につながる2Rの取組で社会が少しずつ変わるかも。

第5回 5月29日(火)

「風力発電は海へ向かう」

佐賀大学海洋エネルギー
研究センター 教授
石田 茂資 氏



再生可能エネルギーのうち、最もポテンシャルが大きいのは風力発電である。大型化が可能な洋上に向け、直径164mの巨大風車が実現している。風車の原理・種類などの基礎知識から、欧州の海上に立つ大規模ウィンドファーム、開発が進む浮かぶ風車まで、わかりやすく解説。

第6回 5月31日(木)



「ホテル保全の考え方と方法」

東京ゲンジホテル研究所
代表 古河 義仁 氏

ホテルの生態や生息環境は地域特性もあり、まだまだ未知の部分が多くありますが、ホテルの生態と生息環境の最新の知見をお伝えするとともに、どうすることが地元のホテルを守っていくことに必要なのか、その保全の方法と具体策を考えます。

第7回 6月7日(木)



「身近な自然とのかかわり」

玉川大学名誉教授、日本櫻学会会長、自然環境復元協会理事長、樹木医 石川 晶生 氏

自然は資源を提供してくれるだけでなく、豊かな精神文化も育んでくれる。身近な自然の緑や四季の変化、春の桜を話題にしながら自然との触れ合いについて考えましょう。

第8回 6月14日(木)

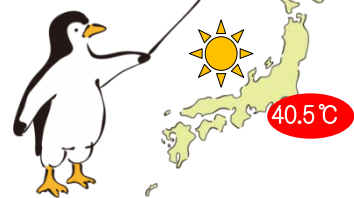


「熱の目で都市を見てみる」

佐賀大学 理工学部 准教授 中大窪 千晶 氏

ヒートアイランド現象に代表される都市の熱環境問題について解説を行い、今後の環境に配慮したまちづくりについて考える。

2050年8月の天気…



第9回 6月21日(木)

「里山イニシアティブとSDGs」

佐賀大学全学教育機構 教授 五十嵐 勉 氏

里山保全と活用について、里山イニシアティブとSDGs(持続可能な開発目標)の視点から考える。

第10回 6月28日(木)



「事業者の省エネ対策と環境認証取得事業者の取り組み」

株式会社シグマ 省エネ推進営業開発リーダー兼唐津営業所所長 環境カウンセラー(事業所部門) エコアクション21審査員 池上 敏昭 氏

最近の省エネの動きと事業者における省エネ対策のポイント及び導入事例、また環境認証取得事業者の取り組みをご紹介します。環境認証取得事業者は、ビジネスチャンスです。

第11回 7月5日(木)



「インフラ整備と木材利用」

佐賀大学 理工学部 准教授 末次 大輔 氏

木は二酸化炭素を取り込んで成長するので、木の利用は地球温暖化防止に貢献できる。本講義では、木を利用する意義と木による二酸化炭素貯留の考え方、木を使ったインフラ整備に関する取り組みについて説明する。

第12回 7月12日(木)



「気候変動の農業影響と適応」
国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 主任研究員 飯泉 仁之直 氏

気候変動(地球温暖化)は既に世界各地の農業生産に影響を及ぼしており、日本も例外ではない。影響についての予測や気候変動に適応するための取り組みについて紹介。

体験講座
現地見学会

講義以外にもフィールドワークで学ぶ講座もあり。(通年受講者対象)

体験講座 環境学習会in三瀬:6月23日(土) ごみ探検隊:6月30日(土)

現地見学会 8月11日(土)

※時間や場所は通年受講者へ別途お知らせします。

受講方法

①通年受講(講義・現地見学会・体験講座・ワークショップ全て受講できます)

対象 一般・学生・法人(1口で1人枠の受講可能) 受講料 一般5,000円・学生1,500円・法人5,000円

申込方法 『佐賀環境フォーラム受講』と明記し、「住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号(携帯)・メールアドレス」をご記入の上、はがき・FAX・ホームページ内の申込みフォームの何れかでお申込み下さい。※高校生は保護者の署名捺印が必要です。

申込期限 平成30年5月14日(月) ※15日以降は当日会場で受付。

②スポット受講(希望講義のみ受講)

受講料 1講義につき500円(学生200円) 申込方法 スポット受講は当日会場にて受付。

車でお越しの場合は
駐車場代
200円が必要



申込み
問合せ

佐賀環境フォーラム事務局 佐賀市環境政策課

〒840-8501 佐賀市栄町1番1号(佐賀市役所本片舎)

TEL 0952-40-7202 FAX 0952-26-5901

Mail kankyoseisaku@city.saga.lg.jp

ホームページはこちら

